

〔お客様へ この説明書は大切に保管してください〕

安全に関するご注意

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

！ 必ず守る **表示された電源電圧・周波数で使用する。**
感電・火災の原因となります。

！ 必ず守る **本製品の分解や改造、部品を変更しない。**
本器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

！ 必ず守る **光を直視しないでください。**
目の障害が残る可能性があります。

🚫 禁止 **器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない。**
火災や感電の原因になります。異常を感じた際は専門家（工事店・電気店）に相談してください。

！ 必ず守る **万一、煙が出たり、異臭がしたりするなどの異常を感じたら電源を切る**
工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。

🚫 禁止 **破損した器具を使用しない。**
本器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

🚫 禁止 **可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない。**
本器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

！ 必ず守る **定期的に点検する。**
1年に1回外観をチェックし、変形・ひび割れ・ガタツキ・破損がないかをチェックしてください。異常がある場合は専門家（工事店・電気店）に相談してください。また、3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検をお受けください。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。専門家（工事店・電気店）に相談してください。異常を放置したり、長時間使用を続けると、発煙・発火・感電などの事故が発生する可能性があります。

！ 必ず守る **適正温度(5℃～ 35℃)で使用する。**
適正温度外で使用すると、故障や短寿命の原因になります。

🚫 禁止 **被照射面と本器具の距離を100cm以上離し、外郭が構造物に触れないように使用してください。**
過熱による発煙・発火及び投光器の故障の原因となります。

🚫 禁止 **点灯中・消灯直後に触れない。**
点灯中や消灯直後は、本器具が高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

！ 必ず守る **つららが発生することがある場合は、つららの除去を行ってください。**
つらら落下による怪我のおそれがあります。

使用上のご注意

- 本器具の前面カバーは交換ができませんので、キズなどをつけないでください。破損、防水不良、照度低下の原因となります。前面カバーに亀裂などを発見した場合は速やかな交換が必要です。ただちに電源を切り、専門家（工事店・電気店）などに相談してください。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色のばらつきがあるため、個々のLEDにより色味が異なる場合があります。また、照射距離が近い場合は、照射面によって光むらや色むらが生じることがあります。
- 本器具の取り付けられている場所で硫黄成分があるものを取り扱わないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガスなどが該当します。（ほかにも一部の食品や薬品・紙類、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）光学性能に影響を与える場合があります。
- ビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください

- 清掃する際は必ず電源を切り、本器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- 清掃には、洗剤（薄めた中性洗剤）を浸したやわらかい布をよく絞って拭取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

ランプ交換について

LED交換はできない構造です。定格寿命後は本器具の交換を行ってください。

YAZAWA LED防犯灯

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

取扱説明書
施工説明書

保 存 用

型番	種類	光源色	全光束	定格電圧	消費電力	寸法	質量	防水規格
STL9NIV	LED防犯灯	昼白色	1,260lm	AC100-240V	9.0W	300×80×85mm	0.72kg	IP67
STL9NOIV	LED防犯灯自動点滅機能付き							

施工説明 工事店様へ この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

※説明の図は製品と一部異なる場合があります。

誤った取り扱いをした場合に生じる危害とその程度を次の区分で説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷に結びつく可能性のある内容」です。

⚠ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、次の絵記号で説明しています。

🚫 禁止 してはいけない内容です。

！ 必ず守る 実行していただく内容です。

安全に関するご注意

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

！ 必ず守る **本器具は**
・周囲温度範囲が5～35℃から外れる場所
・腐食性／可燃性ガスの雰囲気さらされる場所
・海岸線近くなど重い塩害を受ける地域
・湿度が85%を超える、または水に浸る場所
・振動、衝撃の多い場所
・粉じんの多い場所・可燃材に触れる場所
では使用しないでください。
発煙・発火、感電、落下の原因となります。

！ 必ず守る **本器具の分解や改造、部品を変更しないでください。**
発煙・発火、感電、落下の原因となります。

！ 必ず守る **前面カバー（グローブ）は、衝撃を加えたり、欠けやひび割れの発生している状態で使用したりしないでください。**
破損、落下の原因となります。

！ 必ず守る **施工の際は施工説明書に従って正しく行ってください。**
誤った取扱いがあると、発煙・発火、感電、落下の原因となります。

！ 必ず守る **施工は、施工説明に従って確実に行い、改造しない。**
破損・落下・感電・火災の原因となります。

！ 必ず守る **アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。**
アースが不完全な場合は感電の原因となります。

！ 必ず守る **本器具は落下、発煙・発火、感電などの危険を避けるため、質量や風圧などの荷重に耐える場所に確実に取り付け、器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。**
落下、発煙・発火、感電の原因となります。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

🚫 禁止 **本器具の質量を十分確認して取付けてください。**
取付面が強度不足の場合は、器具落下の原因となります。

🚫 禁止 **被照射面との距離に注意してください。**
被照射面との距離が指定した距離より短い場合、本器具の熱による発煙・発火の原因となります。

🚫 禁止 **使用する電線は、施工説明書指定品と同等以上の性能を有する電線を使用してください。**
指定性能以外の電線を使用すると、発煙・発火、感電の原因となります。

🚫 禁止 **本器具質量に充分耐える強度を確保した構造物に取付けし、ボルトは過度な締付をしないでください。**
施工に不備があると、落下の原因となります。

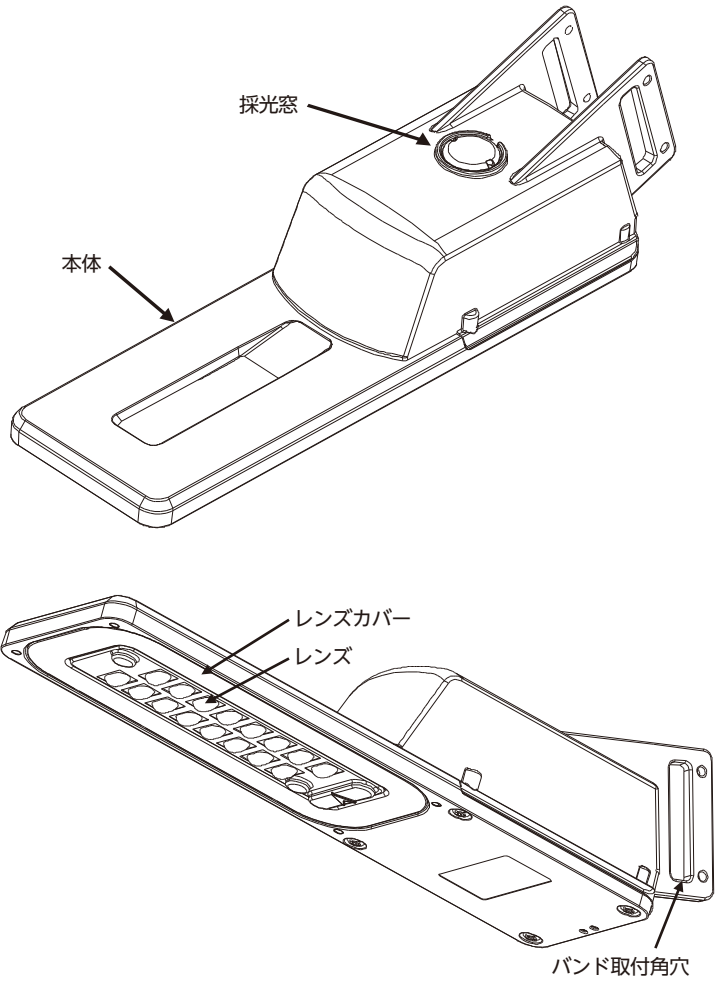
🚫 禁止 **本製品は下向照射取付専用器具です。グローブ面が下になります。上向き、横向き、吊り下げなどの状態では取り付けできません。**
指定以外の取り付けをすると、火災、感電、落下の原因となります。

🚫 禁止 **電源接続の際に、定格電圧の±6%以内であることを必ず確認してください。**
定格電圧範囲から外れた電源を接続すると、発煙・発火・故障、不動作の原因となります。

🚫 禁止 **本器具の口出線を持つての運搬は行わないでください。**
断線や浸水による絶縁不良、LED不点、発煙、発火、感電の原因となります。

🚫 禁止 **移動灯として使用しない でください。**
事故、破損、故障の原因となります。

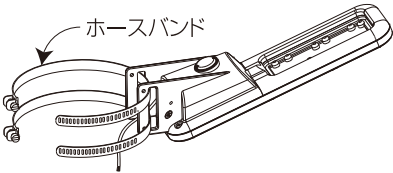
各部名称



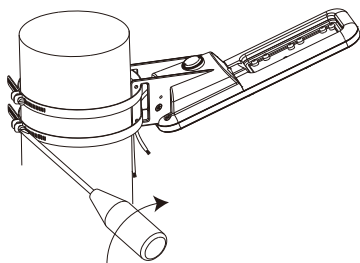
採光窓および固定ねじを絶対に外したり、緩めたりしないでください。
外したり緩めたりすると、防水性能が損なわれ、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

取付方法

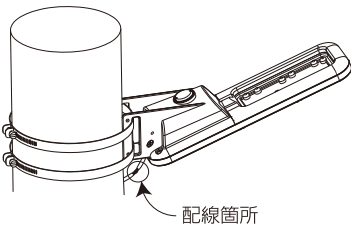
1 ホースバンド (別途) を灯具の取り付け穴に通します。



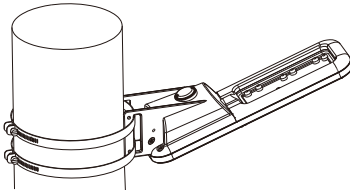
2 ホースバンドをポールに巻きつけた後、ネジを時計方向に回して、固定します。



3 灯具から出ているプラス、マイナス、接地線は、正しく接続してください。

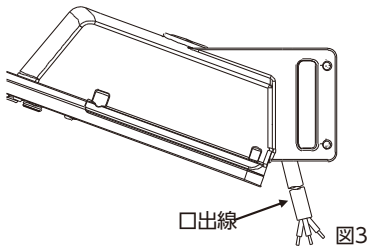


4 取付完了
備考：図示のホースバンドは一例です。
実際の取付工具の形状に応じて同様の処置を施してください。



電源の接続方法

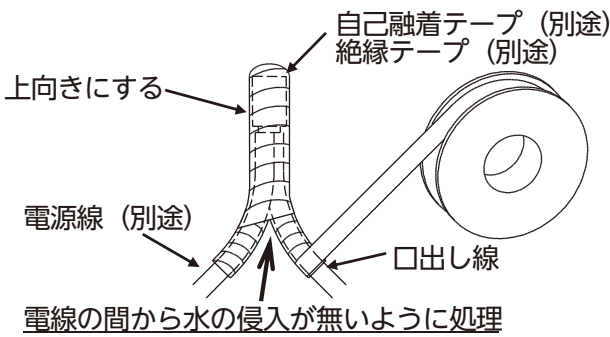
1 器具の口出線と電源線 (別途) を圧着スリーブ (別途) などで結線してください。
※接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
※結線方法は電気設備技術基準・解釈及び 内線規程に従ってください。



2 結線部分は自己融着テープ (別途) と絶縁テープ (別途) で十分に絶縁・防水処理を行ってください。
下記の絶縁・防水処理方法に従って施工してください。

3 アース線を使用して、D種接地工事を行ってください。
口出線やアース線を取付バンドに挟み込まないよう、ご注意ください。
※アース線も口出線と同様に下記の絶縁・防水処理方法に従って施工してください。
※接地が不完全の場合、感電や漏電の原因となります。

△ 絶縁・防水処理方法



- 結線部分に自己融着テープを巻きつけて処理を行い、絶縁テープを巻きつけてください。
- 上図の様に拝み配線を行う際には電線の間にも防水処理を行ってください。
※防水処理が不十分な場合、水分の浸入により器具故障の原因となることがあります。
- 防水の為に、結線部分は上向きにしてください。

自動点滅機能付器具をご使用の場合のご注意 (型番：STL9NOIV)

自動点滅機能付器具は使用場所により次のような点滅の動作を起こす場合があります。あらかじめ取付場所を確認のうえご使用ください。

- ・昼間でも暗い場所(木陰、ひさしの下、高架橋の下など)に取付けますと早く点灯、遅く消灯することがあります。
- ・夜間でも明るい場所(隣地や街路の照明が自動点滅装置に当る場所)へ取付けますと、点灯しないことがあります。
- ・積雪や落ち葉などにより採光窓が覆われてしまうような環境下で器具をご使用される場合、自動点滅機が誤作動する可能性があります。

自動点滅機能付器具の動作確認方法

周囲が明るいとき (日中) に自動点滅機能付器具について動作確認を行う場合は次のように行ってください。

1 器具設置後、採光窓を覆うように手で塞いでください。
周囲の日差しが強い場合などは、器具の発光部分以外を黒色などの遮光性の高い布で覆って遮光してください。
遮光が不十分の場合、器具内部の自動点滅装置が動作しない原因となります。

2 点灯確認をしてください。

3 採光窓から手を放し、消灯確認をしてください。
※上記点滅動作には、20～30秒程度の動作遅延時間を要する場合があります。

